

流通構造調査（英国）
清酒

2015年3月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ロンドン事務所

農林水産・食品調査課

【免責条項】 本報告書で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェットロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本報告書で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェットロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

英国における清酒の輸入流通動向

(ロンドン事務所)

英国向け清酒の輸出はハイエンドな日本食レストランに受け入れられていること等を背景に 220 万ドル台を維持し順調である。主な消費先の日本食レストランはロンドン市内だけで約 520 店あるとされ、清酒のラインアップに注力するハイエンドな高級日本食レストラン、居酒屋スタイルの日本食レストランのほかにラーメン・うどん店の中にも多数の銘柄を取り揃える店舗が見られる。市場参入に係る流通段階毎の所要期間・関連費用の動向などをみる。

<廉価品から高価格品まで行き届いた品揃えの小売店>

日本からの清酒輸出は、2014 年に金額が 1 億 910 万ドル（前年比 0.7%増）、数量が 1 万 6,314kℓ（同 0.7%増）と、大口需要国の米国（数量で全体の 26.6%を占める）、韓国（同 19.7%を占める）、台湾（同 10.7%を占める）、香港（同 9.9%を占める）向けの減少により輸出全体が若干伸び悩んだとみられる。うち英国向けは、金額が 227 万ドル（前年比 1.6%増、全体の 2.1%を占める）、数量が 288kℓ（同 4.5%増、同 1.8%を占める）といずれも 9 位である。清酒は、英国向け輸出食材の中で 2013 年まで 1 位のソース混合調味料、2 位の醤油に次ぐ 3 位、2014 年は第 5 位と順位は下げているものの金額・数量とも安定的に継続している（表 1、表 2 参照）。

英国で小売販売されている清酒は、JapanCentre に代表される日本食材店で幅広い銘柄を購入可能であるほか、近年では高級百貨店、ワイン等の種類専門店でも清酒を取扱う店舗が見られる。例えば欧州最大の日本食材店と言われる JapanCentre の場合、純米大吟醸、大吟醸、純米酒、本醸造、スパークリングなど様々な清酒を取り揃えており、インターネットサイト上の小売価格は、月桂冠生酒（180ml）が 4.50 ポンド（1 ポンド=190.82 円）、櫻室町備前幻（純米吟醸、300 ml）が 14.30 ポンド、上善如水（吟醸、720 ml）が 37.54 ポンドなどとなっている。英国では一般的に吟醸・大吟醸が好まれる傾向にあるが、スパークリング清酒の人気も高い。また、米国等で寿司と共に日本酒を飲んだことのある在英富裕外国人は日本酒を飲むことに抵抗が無い傾向にある。

日本食レストランはロンドン市内だけで約 520 店舗あるとされ、その大部分は寿司を中心としたメニューを提供する店舗であるものの、近年ラーメン、カレー、お好み焼き等のメニューに特化した店舗が増えるなど業態が多様化している。輸入清酒の 8 割は日本食レストラン需要と見られる。

表1 日本からの清酒輸出動向

仕向け国	金額（ドル）				
	2012年	2013年 （A）	2014年 （B）	構成比 （B）	前年比 （B/A）
世界	112,422,910	108,380,309	109,103,426	100.0%	0.7%
米国	40,778,410	39,961,941	39,194,783	35.9%	△ 1.9%
香港	18,771,390	17,547,752	17,357,006	15.9%	△ 1.1%
韓国	15,158,575	14,286,964	12,476,049	11.4%	△ 12.7%
中国	5,176,200	5,367,623	6,534,353	6.0%	21.7%
台湾	6,436,883	6,039,755	6,033,625	5.5%	△ 0.1%
シンガポール	4,711,925	3,959,167	4,859,690	4.5%	22.7%
カナダ	3,075,014	2,879,483	2,754,386	2.5%	△ 4.3%
オーストラリア	2,691,951	2,151,512	2,548,469	2.3%	18.5%
英国	2,289,735	2,237,717	2,273,865	2.1%	1.6%
タイ	2,111,891	1,816,415	1,777,524	1.6%	△ 2.1%
仕向け国	金額（千円）				
	2012年	2013年 （A）	2014年 （B）	構成比 （B）	前年比 （B/A）
世界	8,945,976	10,523,576	11,506,945	100.0%	9.3%
米国	3,245,193	3,873,390	4,128,462	35.9%	6.6%
香港	1,495,282	1,712,043	1,828,942	15.9%	6.8%
韓国	1,203,539	1,381,645	1,313,696	11.4%	△ 4.9%
中国	411,880	523,096	690,291	6.0%	32.0%
台湾	512,818	586,991	637,748	5.5%	8.6%
シンガポール	374,849	383,334	512,274	4.5%	33.6%
カナダ	245,240	279,961	290,224	2.5%	3.7%
オーストラリア	214,058	209,006	269,529	2.3%	29.0%
英国	181,980	216,774	239,800	2.1%	10.6%
タイ	167,869	176,512	187,169	1.6%	6.0%
仕向け国	数量（リットル）				
	2012年	2013年 （A）	2014年 （B）	構成比 （B）	前年比 （B/A）
世界	14,130,554	16,202,201	16,313,867	100.0%	0.7%
米国	3,952,113	4,489,281	4,340,913	26.6%	△ 3.3%
香港	1,492,070	1,716,362	1,613,390	9.9%	△ 6.0%
韓国	2,904,088	3,501,601	3,221,473	19.7%	△ 8.0%
中国	666,489	895,566	1,073,526	6.6%	19.9%
台湾	1,603,450	1,746,596	1,742,111	10.7%	△ 0.3%
シンガポール	398,654	415,350	454,688	2.8%	9.5%
カナダ	488,682	516,159	480,314	2.9%	△ 6.9%
オーストラリア	281,390	269,417	333,585	2.0%	23.8%
英国	237,686	275,484	287,830	1.8%	4.5%
タイ	445,913	452,483	441,452	2.7%	△ 2.4%

（出所）財務省貿易統計

表2 英国向け主要食品輸出の動向

対英国輸出上位5品目 (単位：千ドル)	2012年	2013年 (A)	2014年 (B)	構成比 (B)	伸び率 (B/A)
食料輸出合計	33,618	34,480	43,609	100.0%	26.5%
ソース混合調味料	5,007	4,526	4,468	10.2%	△ 1.3%
醤油	3,447	3,617	4,080	9.4%	12.8%
インスタントコーヒー	854	453	2,782	6.4%	514.1%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩)	0	1,258	2,279	5.2%	81.2%
清酒	2,290	2,238	2,274	5.2%	1.6%

(出所) 財務省貿易統計

<求められる長距離輸送への対応、現地消費者に至るまで最長 70 日間>

輸出業者は、商品が日本国内の指定倉庫へ到着後、リーファーコンテナでの海上輸送を手配する。輸入業者は英国での輸入通関手続き、小売店・飲食店への配送を行う(注2)。日本から英国への海上輸送の所要日数は、サザンプトン港を使用する場合で約 30 日間である。英国内流通経路における所要日数については、最終消費者が概ねロンドン市内であるため 10 日間程度であるが(表3参照)、通関に時間を要した場合等、最終消費者に至る(飲まれる)まで最長合計約 2 ヶ月半を要することも良くあるため長距離輸送への対応が求められる。

流通費用のヒアリング結果から、生産者から英国消費者までの流通コストを積算すると、日本の生産者の出荷額(指数 100)の約 5 倍強(同 540 超)になることがわかった(表4参照)。内訳をみると、清酒に係る物流コストは、海上輸送費、通関手数料、英国での国内配送料である。また輸入 CIF 価格(同 223)に各種税金(関税：7.70 ユーロ/100ℓ、酒税：アルコール度数 5.5~15%未満の場合 273.31 ポンド/100 リットル、アルコール度数 15~22%未満の場合 364.37 ポンド/100ℓ)が賦課され、さらに各段階では(輸出業者、輸入業者、小売業)利益(マージン)が上乘せされるためである。小売段階でのマージンが大きいように見えるが、小売業者は保管料や在庫リスクを抱えて販売するビジネス環境であることを加味しての設定であり、特に小売業者が不当な利益を上げているわけではないと認識される。

(注1) ロンドン繁華街で約 40 年近く店舗を構える欧州最大の日本食材店。オンライン販売にも対応しており、酒類・加工食品(菓子類など)・調味料(醤油など)・和風用品(とっくり・おちょこなど)・書籍などを販売している。

(注2) 20 フィートコンテナには理論的には 1,000 ケースほどを積載可能だが、欧州への輸出に際しては混載が一般的であり定尺の箱を積むわけではないため、実際の積載箱数は計算値より大きく下回る。(特に日本酒の場合には、1 ケースあたりの数量が他の食品(菓子類等)と比較しても少ない(720ml 瓶で 6 本など)ことに留意。)

表3. 流通（物流）経路、時間、および商慣習

(船便の場合)

流通（物流）経路	所要時間 （日数）	備考
メーカー（蔵元） ↓ 輸出業者（指定倉庫）	10日程度	オーダーを受けてから指定倉庫まで搬送するまでの日数 低温輸送の場合、リーファーコンテナ確保が制約となるため、オーダーから指定倉庫搬入までに調整時間を要する。
指定倉庫 ↓ 船への積み込み、出航	5日程度	出航スケジュール次第で前後する
海上輸送	30日程度	
通関〔サザンプトン港〕	15日程度	担当官による検査が行われる場合等（最長の場合）
輸入業者倉庫搬入 ↓ 小売店・飲食店	10日程度	

英国・ロンドン 流通経路・時間等：清酒／Bブランド

表4. 流通（物流）費用

輸出形態	海上コンテナ（20フィートコンテナ）				
ロット					
場面	コスト		単価		備考
	項目	(税)率等	出荷額=100	輸入価額=100	
メーカー（蔵元） ↓ 輸出業者	出荷額（FOB）		100		FOB価格（720ml／本）
輸送費	海上輸送費		158（平均）		20フィートコンテナによる海上輸送はコンテナあたり1,200～1,800GBP。（通関手数料込）
輸出業者 ↓ 輸入業者への受渡	CIF価格		223		輸出業者→輸入業者への出値（CIF価格）
	酒税		55		100リットルあたり364.37GBP （アルコール度数16～17%の日本酒の場合）
	関税		1		7.70EUR/100リットル
現地小売店 ↓ 一般消費者	店頭価格		541		日本食材店における小売価格
	VAT	20%			

（注）1GBP=180円、1EUR=0.73GBPで換算

流通構造調査（英国-清酒）

2015年3月作成

作成者 日本貿易振興機構（ジェトロ） ロンドン事務所、農林水産・食品調査課
〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32
Tel : 03-3582-5186 E-mail : AFC@jetro.go.jp
